



## マネージャの削除

---

Unified CM Assistant マネージャを削除すると、Cisco Unified CallManager は、そのマネージャの情報をディレクトリにユーザとして保持します。たとえば、*rmartinez* というユーザ ID を持つマネージャに 2 人のアシスタントがいて、それぞれ *dbell* と *jkent* というユーザ ID を持つ場合、マネージャとしての *rmartinez* を Cisco Unified CallManager データベースで削除すれば、*rmartinez* と両方のアシスタントとの関連付けを解除できます。削除した後も、ディレクトリには *rmartinez* がユーザとして残ります。

## Cisco Unified CallManager からのマネージャの削除

Cisco Unified CallManager データベースと LDAP ディレクトリから、マネージャと、そのマネージャとアシスタントのアソシエーションをすべて削除できます。[IPMA マネージャの削除] オプションにアクセスするには、**Bulk Administration** > [マネージャ / アシスタント] > [IPMA マネージャの削除] を選択します。

削除する既存のレコードを検索する方法には、次の 2 つがあります。

- クエリーを使用したマネージャのアソシエーションの削除 (P.29-2)
- カスタム ファイルを使用したマネージャのアソシエーションの削除 (P.29-3)

### クエリーを使用したマネージャのアソシエーションの削除

Cisco Unified CallManager ディレクトリ内で、アシスタントとのアソシエーションからマネージャを削除する手順は、次のとおりです。

#### 手順

**ステップ 1** **Bulk Administration** > [マネージャ / アシスタント] > [IPMA マネージャの削除] > [クエリー] の順に選択します。[IPMA マネージャの削除 (Delete IPMA Managers Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 最初の [検索対象: マネージャ、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索基準を選択します。

- [ユーザ ID]
- [名]
- [ミドルネーム]
- [姓]
- [部署名]

2 番目の [検索対象: マネージャ、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索基準を選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列と等しい]
- [が次の文字列で終わる]
- [が空である]
- [が空ではない]

**ステップ 3** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



**ヒント** データベースに登録されているすべてのマネージャを検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。



**(注)** マネージャを複数の部署から選択するには、このフィールドに複数の部署を入力します。たとえば、部署 12 と部署 24 からマネージャを選択するには、3 番目のボックスに **12, 24** と入力します。削除操作を 2 回繰り返す必要はありません。

**ステップ 4** クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、[絞り込み] チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから **AND** または **OR** を選択して、ステップ 2～3 を繰り返します。

**ステップ 5** [検索] をクリックします。

検索されたマネージャのリストが、次の項目別に表示されます。

- [ユーザ ID]
- [名]
- [ミドルネーム]
- [姓]
- [部署名]

**ステップ 6** Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 7** マネージャを即座に削除するには、Run Immediately オプション ボタンをクリックします。マネージャを後で削除するには、Run Later をクリックします。

**ステップ 8** [送信] をクリックして、選択したマネージャを削除するジョブを作成します。

**ステップ 9** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、Bulk Administration メイン メニューの[ジョブスケジューラ] オプションを使用します。

ジョブの詳細については、第 51 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、P.54-4 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

### その他の項目

詳細については、P.29-4 の「関連項目」を参照してください。

## カスタム ファイルを使用したマネージャのアソシエーションの削除

テキスト エディタを使用してカスタム ファイルを作成し、削除対象のマネージャのアソシエーションを検索できます。

### 始める前に

1. 削除するマネージャのユーザ ID を指定したテキスト ファイルを作成します。
2. ユーザ ID は、1 行に 1 つずつ指定します。
3. カスタム ファイルを Cisco Unified CallManager サーバの最初のノードにアップロードします。  
詳細については、P.2-5 の「ファイルのアップロード」を参照してください。

カスタム ファイルを使用してマネージャのアソシエーションを削除する手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** Bulk Administration > [マネージャ/アシスタント] > [IPMA マネージャの削除] > [カスタムファイル] の順に選択します。[IPMA マネージャの削除 (カスタム) (Delete IPMA Managers Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。

## ■ 関連項目

**ステップ 2** [削除対象: マネージャ、検索条件] フィールドで、識別子 [ユーザ ID] を選択します。

**ステップ 3** 2 番目のフィールドである [カスタムファイル] ドロップダウン リストボックスで、このトランザクション用に作成したカスタム ファイルの名前を選択します。

**ステップ 4** [検索] をクリックします。

検索されたマネージャのリストが表示されます。

**ステップ 5** Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 6** マネージャを即座に削除するには、**Run Immediately** オプション ボタンをクリックします。マネージャを後で削除するには、**Run Later** をクリックします。

**ステップ 7** [送信] をクリックして、選択したマネージャを削除するジョブを作成します。

**ステップ 8** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウを使用します。

ジョブの詳細については、[第 51 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.54-4 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。

---

## 関連項目

- [Cisco Unified CallManager 内のマネージャとアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.28-2\)](#)
- [Cisco Unified CallManager からのアシスタントの削除 \(P.30-2\)](#)
- [BAT ログ ファイル \(P.54-4\)](#)
- [ファイルのアップロード \(P.2-5\)](#)
- [ジョブのスケジュール \(P.51-1\)](#)